

「鈴鹿工業高等専門学校で『特許紛争劇』を上演！」

いつどこで？

平成30年11月14日（水）、鈴鹿工業高等専門学校（三重県鈴鹿市白子町）にて、弁理士が演じる「特許紛争劇」が上演されました。

大変清々しい秋晴れのなか、取材のため学校にお邪魔しました。



役に立つ？

特に鈴鹿工業高等専門学校の学生さんたちは、近い将来、ものづくりにたずさわる仕事につくことがある環境で学ばれています。

もし、将来、ものづくりの場面でちらっと「あ、これって特許になるのかな？」と、この日の特許紛争劇のなかの印象に残った場面が思い出されるとすれば、それは我々としても大変光栄なことだと思います。

弁理士会東海支部は、学校関係者からの様々なご要望をお待ちしています。

どんなイベント？

ひとことで言うと、我々弁理士が、学生に向けて行う出前授業です。知的財産権の必要性や活用手法を気軽に体感させてくれるイベントです。

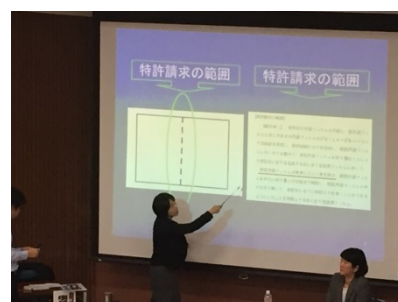
どんな雰囲気？

演じる弁理士は、もちろんプロの俳優ではありません。ですので、劇から醸し出される雰囲気はあくまでもアットホーム。参加した学生たちも肩肘張らずに気軽に劇を楽しむ雰囲気です。

劇中の特許紛争が盛り上がってきたところで飛び出した演者のだじゃれには、学生達の笑い拍手で会場が大いに湧きました。

一方、これは特許侵害か否か？の切迫した場面になり、結論を学生さんたちにインタビュー形式で質問する場面になると、一転して、学生さんたちは判断の理由を真剣に悩みながら答えていました。

とにかく、メリハリのある時間があっという間に過ぎ去った感じです。



2018.12.17 東海支部 広報企画委員会委員
弁理士 岩田 康利